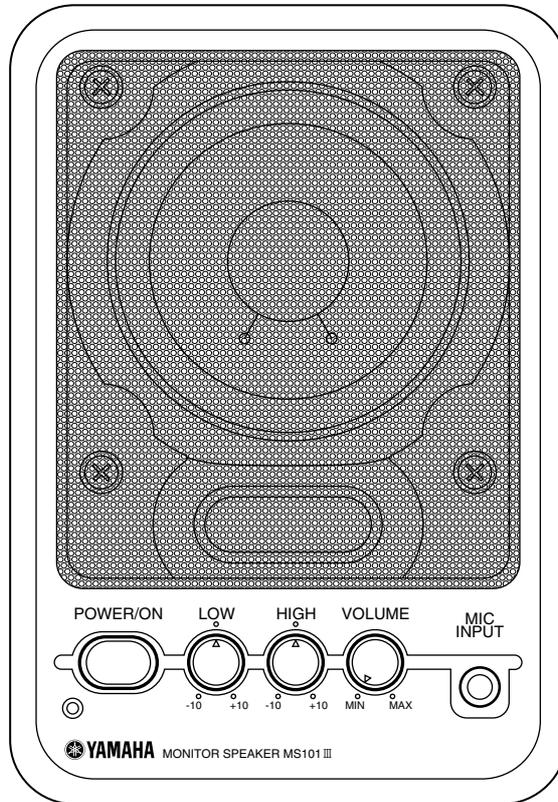




MONITOR SPEAKER

MS101 III

取扱説明書



このたびは、ヤマハ モニター・スピーカー MS101 IIIをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。MS101 IIIは、コンパクトなバスレフ式キャビネットに4インチ・フルレンジスピーカーを採用し、その忠実な再現性はホームレコーディングやパーソナルなレッスンに最適です。また、防磁タイプですのでTVやビデオモニターの近くでも安心してお使いになれ、あらゆるAVシステムにその性能が発揮されます。

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	～しないでくださいという「禁止」を示します。
	「必ず実行」してくださいという強制を示します。

■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。



警告

この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。



警告

電源 / 電源コード



必ず実行

電源は本体に表示している電源電圧で使用する。エアコンの電源など交流200Vのものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



禁止

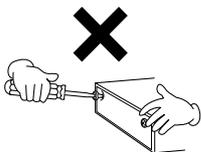
電源コードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源コードに重いものをのせない。電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。

分解禁止



禁止

この機器の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。感電や火災、けが、または故障の原因になります。異常を感じた場合など、点検や修理は、必ずお買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターにご依頼ください。



水に注意



禁止

この機器の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。また、浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。感電や火災、または故障の原因になります。



禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。感電のおそれがあります。

異常に気づいたら



必ず実行

電源コードやプラグがいたんだ場合、または使用中に音が出なくなったり異常においや煙が出たりした場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。



必ず実行

この機器を落とすなどして破損した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。

⚠ 注意

電源 / 電源コード



長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。

感電や火災、故障の原因になることがあります。

必ず実行



電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。

電源コードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。

必ず実行



設置



この機器を移動するときは、必ず電源コードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行なう。

コードをいためたり、お客様や他の方々が転倒したりするおそれがあります。

必ず実行



この機器を電源コンセントの近くに設置する。

電源プラグに容易に手の届く位置に設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源スイッチを切った状態でも微電流が流れています。この製品を長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

必ず実行



風通しの悪い狭いところに押し込めたりしない。

この機器を壁や他の機器から左右に10cm、後ろに10cm、上に20cm以上離してください。機器内部に熱がこもり、故障や火災の原因になることがあります。

禁止



直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなる場所、逆に温度が極端に低い場所、また、ほこりや振動の多いところで使用しない。

この機器のパネルが変形したり、内部の部品が故障したりする原因になります。

禁止



不安定な場所に置かない。

この機器が転倒して故障したり、お客様や他の方々がけがをした原因になります。

禁止

接続



他の機器と接続する場合は、すべての電源を切った上で行なう。

また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器の音量(ボリューム)を最小にする。

感電、聴力障害または機器の損傷になることがあります。

必ず実行



使用時の注意

スピーカーの故障を防ぐために、電源を入れるときは、最後にこの機器の電源を入れる。また、電源を切るときは、最初にこの機器の電源を切る。

必ず実行



この機器のパネルのすき間に手や指を入れない。

お客様がけがをするおそれがあります。

禁止



この機器のパネルのすき間から金属や紙片などの異物を入れない。

感電、ショート、火災や故障の原因になることがあります。入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。

禁止



大きな音量で長時間スピーカーを使用しない。

聴覚障害の原因になります。

禁止



音が歪んだ状態ではこの機器を使用しない。

機器が発熱し、火災の原因になることがあります。

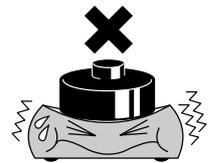
禁止



この機器の上ののったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。

この機器が破損したり、お客様や他の方々がけがをした原因になります。

禁止



このスピーカーは防磁型ですが、近くのディスプレイに色ムラが生じる場合は、少し離して設置してください。

携帯電話からの影響について

この機器のすぐ近くで携帯電話を使用すると、この機器にノイズが入ることがあります。そのようなときは、少し離れた場所で携帯電話をご使用ください。

● 不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

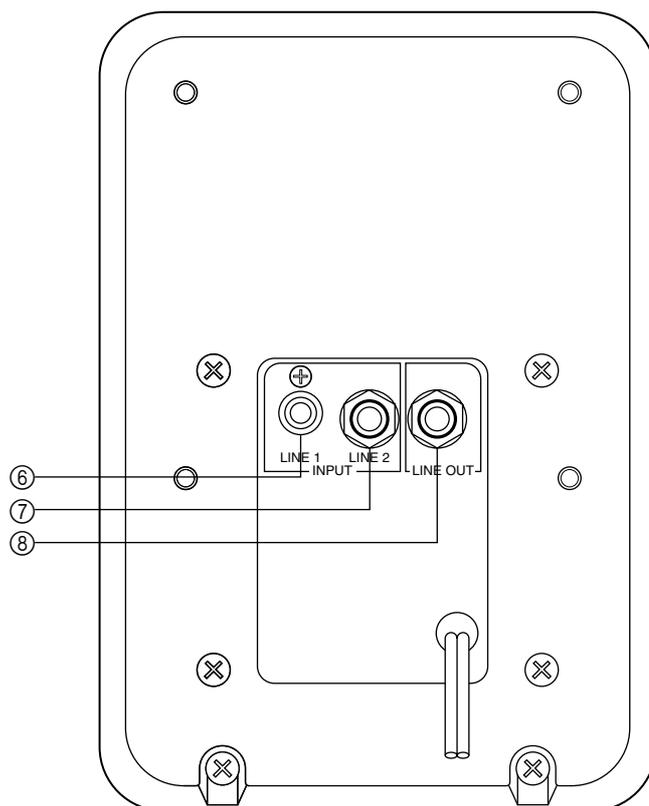
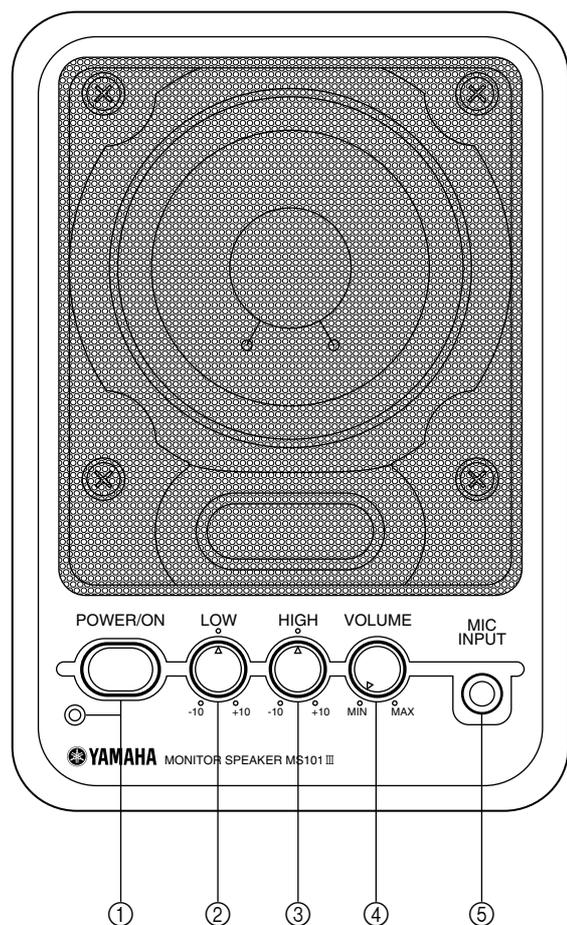
使用後は、必ず電源スイッチを切りましょう。

スイッチ、ボリュームコントロール、接続端子などの消耗部品は、使用時間により劣化しやすいため、消耗に応じて部品の交換が必要になります。消耗部品の交換は、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターにご相談ください。

* この取扱説明書に掲載されている会社名、製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

* この取扱説明書に掲載されているイラストは、すべて操作説明のためのものです。したがって実際の仕様と異なる場合があります。

フロントパネル リアパネル



① 電源スイッチ (POWER/ON) / インジケータ

電源のオン / オフを切り替えるスイッチです。スイッチを押すと電源が入り、インジケータが点灯します。もう一度押すと、電源がオフになります。

② LOW コントロール

右に回すと低音域が上がり、左に回すと下がります。

③ HIGH コントロール

右に回すと高音域が上がり、左に回すと下がります。

④ VOLUME コントロール

全体の音量を調整します。

⑤ MIC INPUT

モノラルのフォーンジャックで、ダイナミックタイプのマイクを接続します。

⑥ LINE 1 INPUT

CD プレーヤー、MD レコーダー、VCR などのライン出力を接続するピンジャックです。

⑦ LINE 2 INPUT

モノラルのフォーンジャックで、シンセサイザー、ミキサー、マルチトラック・MD レコーダー、エフェクターなど、オーディオ機器のライン出力を接続します。

⑧ LINE OUT

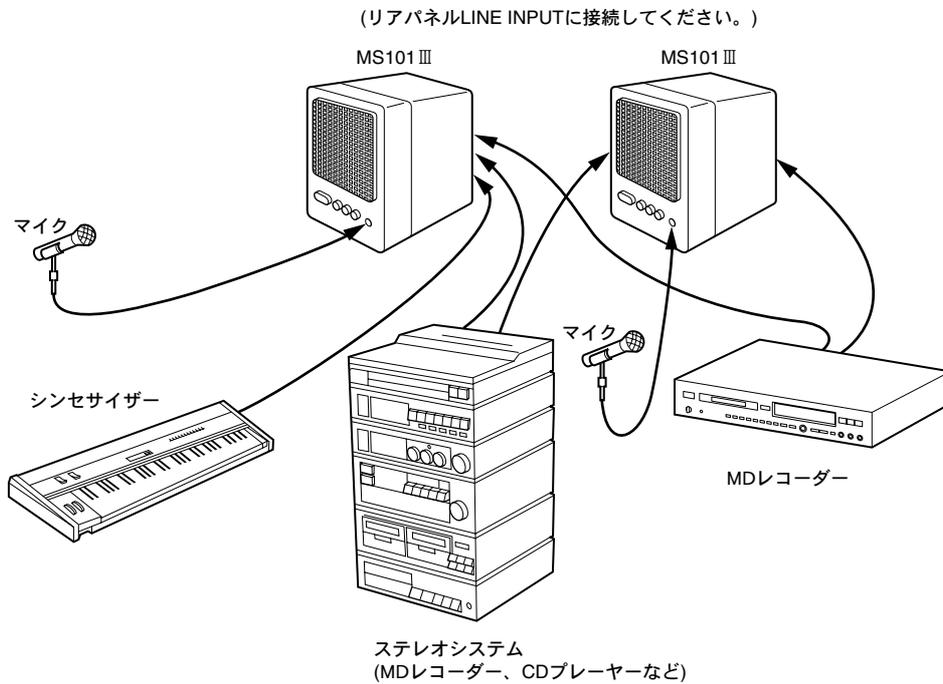
録音のために MD レコーダーを接続したり、もう一台の MS101 III を平行接続するためのモノラルフォーンジャックです。

MIC、LINE 1、LINE 2 からの入力信号がミックスされて、この端子から出力されます。出力レベルは一定で、VOLUME コントロールでは調整できません。

接続例

最初に、どの機器もすべて電源が切れていることを確認してから、MS101Ⅲの電源コードをコンセントに差し込んでください。次に、他の機器、シンセサイザー、CDプレーヤーなどをMS101Ⅲに接続して電源を入れます。

マイクをMIC INPUTに、キーボードをLINE 2 INPUTに、CDプレーヤーをLINE 1 INPUTにMDレコーダーなどの録音機器をLINE OUTに接続します。これで、弾き語りが録音できます。

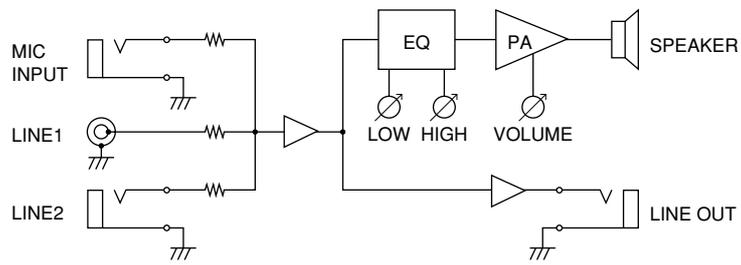


仕様

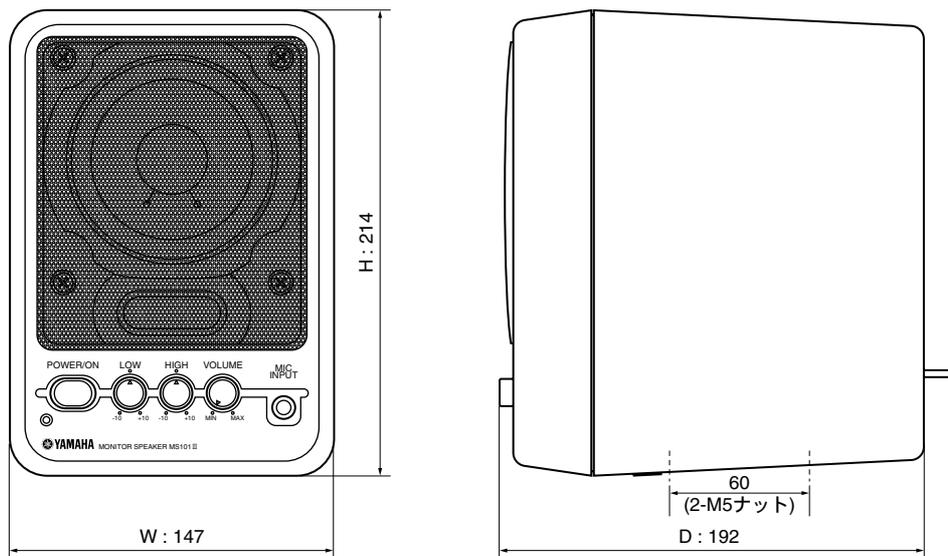
- 総合仕様
 - 形式 バスレフ型 パワード・スピーカー
 - 再生周波数帯域 75 Hz — 18 kHz (LOW および HIGH コントロール：センター)
 - 最大出力音圧レベル 97 dB SPL (10W, 1m on axis)
 - 最大外形寸法 (W x H x D) 147 x 214 x 192 mm
 - 質量 2.5 kg
 - 色調 黒
- アンプ部
 - 定格出力 10 W @ 1 kHz, THD = 0.5%, RL = 4 Ω
 - 周波数帯域 30 Hz — 20 kHz
 - 入力感度 / インピーダンス / 端子
 - MIC: - 45 dB / 2 kΩ / フォーンジャック
 - LINE 1: - 10 dB / 10 kΩ / Pin ジャック
 - LINE 2: - 10 dB / 10 kΩ / フォーンジャック
 - ハム & ノイズ ≤ - 60 dB (VOLUME コントロール：最小)
 - コントロール VOLUME
 - LOW: - 15 dB — + 7 dB @ 75 Hz
 - HIGH: - 13 dB — + 8 dB @ 10 kHz
 - POWER: “オン / オフ”
 - 消費電力 30 W
- スピーカー部
 - スピーカーユニット 10 cm, Cone × 1
 - 出力音圧レベル 87 dB SPL (1W, 1m on axis)
 - 公称インピーダンス 4 Ω

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

ブロックダイアグラム



寸法図



単位: mm

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせの必要がございましたら、お買い上げ店またはヤマハ修理ご相談センターまでご連絡ください。

● 保証書

本書に保証書が掲載されています。購入を証明する書類（レシート、売買契約書、納品書など）とあわせて、大切に保管してください。

● 保証期間

保証書をご覧ください。

● 保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理させていただきます。お客様に製品を持ち込んでいただくか、サービスマンが出張修理にお伺いするのは、製品ごとに定められています。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後の修理

ご要望により有料にて修理させていただきます。

下記の部品などについては、使用時間や使用環境などにより劣化しやすいため、消耗劣化に応じて部品の交換が必要となります。有寿命部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ修理ご相談センターまでご連絡ください。

有寿命部品の例

フェーダー、ボリューム、スイッチ、接続端子など

● 補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造終了後8年です。

● 修理のご依頼

本書をもう一度お読みいただき、接続や設定などをご確認のうえ、お買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターまでご連絡ください。修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

● 損害に対する責任

この製品（搭載プログラムを含む）のご使用により、お客様に生じた損害（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、そのほかの特別損失や逸失利益）については、当社は一切その責任を負わないものとし、また、いかなる場合でも、当社が負担する損害賠償額は、お客様がお支払になったこの商品の代価相当額をもって、その上限とします。

● お客様ご相談窓口

アフターサービス以外で、製品に関するご質問・ご相談は、お客様ご相談窓口までお問い合わせください。

● お客様ご相談窓口：ヤマハプロオーディオ製品 に対するお問合せ窓口

ヤマハ・プロオーディオ・インフォメーションセンター

ナビダイヤル  **0570-050-808**
※ 全国どこからでも市内通話料金でおかけいただけます。

PHS、IP 電話からは 03-5652-3618

（電話受付＝祝祭日を除く月～金 / 11:00～19:00）

Fax: 03-5652-3634

オンラインサポート : <http://jp.yamaha.com/support/>

● 営業窓口

(株)ヤマハミュージックジャパン PA 営業部

〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町 41-12 KDX 箱崎ビル 1F

* 名称、住所、電話番号、営業時間、URL などに変更になる場合があります。

◆ 修理に関するお問い合わせ

ヤマハ修理ご相談センター

ナビダイヤル
(全国共通番号)



0570-012-808

※ 全国どこからでも市内通話料金でおかけいただけます。

上記番号でつながらない場合は

TEL 053-460-4830

受付時間

月曜日～金曜日 9:00～18:00、
土曜日 9:00～17:00
(祝日およびセンター指定休日を除く)

FAX

東日本（北海道 / 東北 / 関東 / 甲信越 / 東海）
03-5762-2125

西日本（沖縄 / 九州 / 中国 / 四国 / 近畿 / 北陸）
06-6465-0367

◆ 修理品お持込み窓口

受付時間

月曜日～金曜日 9:00～17:45
(祝日および弊社休業日を除く)

* お電話は、ヤマハ修理ご相談センターでお受けします。

東日本サービスセンター

〒143-0006

東京都大田区平和島 2 丁目 1-1 京浜トラックターミナル内 14 号棟 A-5F

FAX 03-5762-2125

西日本サービスセンター

〒554-0024

大阪市此花区島屋 6 丁目 2-82 ユニバーサル・シティ和幸ビル 9F

FAX 06-6465-0374

保証書

持込修理

品名	MONITOR SPEAKER		
品番	MS101Ⅲ		
※シリアル番号			
保証期間	本体	お買上げの日から1ヶ年間	
※お買上げ日	年 月 日		
お客様	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	ご住所		
	お名前		
	電話		()
様			

ご販売店様へ ※印欄は必ずご記入ください。

本書は、本書記載内容で無償修理を行う事をお約束するものです。お買上げの日から左記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上お買上げの販売店に修理をご依頼ください。ご依頼の際は、購入を証明する書類(レシート、売買契約書、納品書など)をあわせてご提示ください。

(詳細は下項をご覧ください)

※販売店	店名	()	印
	所在地		
	電話		

株式会社ヤマハミュージックジャパン PA営業部
〒103-0015
東京都中央区日本橋箱崎町41番12号 KDX箱崎ビル1F
TEL. 03-5652-3850

保証規定

- 保証期間中、正常な使用状態(取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態)で故障した場合には、無償修理を致します。
- 保証期間内に故障して無償修理をお受けになる場合は、商品と本書をご持参ご提示のうえ、お買上げ販売店にご依頼ください。
- ご贈答品、ご転居後の修理についてお買上げの販売店にご依頼できない場合には、※ヤマハ修理ご相談センターにお問合わせください。
- 保証期間内でも次の場合は有料となります。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 本書にお買上げの年月日、お客様、お買上げの販売店の記入がない場合、及び本書の字句を書き替えられた場合。
 - 使用上の誤り、他の機器から受けた障害または不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - お買上げ後の移動、輸送、落下などによる故障及び損傷。
 - 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧などによる故障及び損傷。
 - お客様のご要望により出張修理を行なう場合の出張料金。
- この保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- この保証書は再発行致しかねますので大切に保管してください。
 - ※この保証書は本書に示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買上げの販売店、※ヤマハ修理ご相談センターにお問合わせください。
 - ※ご記入いただきましたお客様のお名前、ご住所などの個人情報は、本保証規定に基づく無料修理に関する場合のみ使用致します。取得した個人情報は適切に管理し、法令に定める場合を除き、お客様の同意なく第三者に提供することはありません。
 - ※その他の連絡窓口につきましては、本取扱説明書をご参照ください。

ヤマハ プロオーディオ ウェブサイト
<http://www.yamahaproaudio.com/japan/ja/>
ヤマハ マニュアルライブラリー
<http://www.yamaha.co.jp/manual/japan/>